

平成26年度 小地域福祉ブロック会議 開催一覧

【第1回】

資料1-①

| 中学校区       | 小学校区   | 日時       | テーマ   | 参加人数 | (内<br>地域<br>住民) | 地域<br>ケアシステム<br>検討委員会<br>委員 | 決定事項                                     |
|------------|--------|----------|---|------|-----------------|-----------------------------|--|
| 山手<br>中学校区 | 三条地区   | 9月18日(木) | 活動計画づくり                                     | 35人  | 27人             | 針山・信川<br>村岡                 | 多世代交流イベントの開催を地区で目指す。                     |
|            | 山手地区   | 9月22日(月) | ①障がい当事者からのお話し<br>②(災害時に向けての)活動計画づくり         | 38人  | 31人             | 吉川・藤井<br>田中                 | 今年度中に山手中学校区域で障がい者も含め、「避難所に行ってみる」避難訓練の実施。 |
|            | 朝日ヶ丘地区 | 9月11日(木) | ①実践紹介「芦屋東山パークマンションの取り組み」<br>②活動計画づくり        | 32人  | 24人             | 針山・村岡<br>岡・藤井               | 次回、地区全体で認知症サポーター養成講座等の勉強会を企画する。          |
|            | 岩園地区   | 9月9日(火)  | 活動計画づくり                                     | 36人  | 25人             | 針山・吉川<br>藤井・本郷              | 各町より挙げた3つの計画の中から、次回は各参加者が関心のある目標を具体化する。  |
| 精道<br>中学校区 | 精道地区   | 8月28日(木) | 活動計画づくり                                     | 45人  | 39人             | 針山・信川<br>・本郷                | 各グループ(各町)で検討した活動計画を実施し、次回進捗報告を行う。        |
|            | 宮川地区   | 9月3日(水)  | 活動計画づくり                                     | 45人  | 36人             | 針山・本郷<br>村岡・魚崎<br>脇         | 各グループ(各町)で検討した活動計画を実施し、次回進捗報告を行う。        |
|            | 打出浜地区  | 9月5日(金)  | 活動計画づくり                                     | 31人  | 24人             | 針山・本郷<br>村岡・田中<br>脇         | 各グループ(各町)で検討した活動計画を実施し、次回進捗報告を行う。        |
| 潮見<br>中学校区 | 潮見地区   | 9月17日(水) | ①報告事項「前回各グループで検討した活動目標を踏まえ進捗状況」<br>②活動計画づくり | 23人  | 16人             | 針山・信川<br>大永・下條<br>井岡        | 継続審議                                     |
|            | 潮芦屋地区  | 9月19日(金) | (認知症等の具体的な)活動計画づくり                          | 24人  | 18人             | 下條                          | 各グループ(各町)で検討した活動計画を随時実施する為、次回取り組みを具体化する。 |
|            | 浜風地区   | 9月6日(土)  | ①実践紹介「ラ・グァエル芦屋Ⅲシニア共助会の取り組み」<br>②活動計画づくり     | 32人  | 25人             | 田中・大永                       | 各グループ(各町)で検討した活動計画を実施し、次回進捗報告を行う。        |

【第2回】

| 中学校区       | 小学校区   | 日時        | テーマ                        | 参加人数 | (内<br>地域<br>住民) | 地域<br>ケアシステム<br>検討委員会<br>委員 | 決定事項  |
|------------|--------|-----------|----------------------------|------|-----------------|-----------------------------|---|
| 山手<br>中学校区 | 朝日ヶ丘地区 | 11月20日(木) | 認知症サポーター養成講座開催に向けての実施プラン作り | 27人  | 17人             | 藤井・脇<br>魚崎                  | 11月31日に朝日ヶ丘小学校体育館にてコミスク主催で地域住民・水道橋商店街向けの認知症サポーター養成講座を開催する。                |
| 潮見<br>中学校区 | 潮芦屋地区  | 11月26日(水) | 企画案を基にした、実施プラン作り           | 22人  | 11人             | 大永・下條                       | ①地域の諸活動を収集した一覧を作り、全戸に周知する。<br>②認知症についての理解を広めるため、啓発パネルを作るなど周知の方法と、場を考えていく。 |

| 中学校区  | 平成25年度までに挙げられている課題  | 小学校区  | 第1回小地域福祉ブロック会議にて作成した活動目標   |
|---|---|---|--|
| 山手中学校区  | 地域とのかかわりに消極的な人や認知症によって福祉課題を有する人にどのように関わって良いか知る機会を設けたい。                    | 岩園地区  | ・認知症サポーター養成講座を年2回開催し、サポーターを60人増やす。   |
|   |   | 朝日ヶ丘地区  | ・地区全体で認知症サポーター養成講座等の勉強会を企画する。  |
|   | 地域で孤立している人の困りごとが大きくなってから発見されないようにしたい。                                     |   |  |
|   | 見守り活動の担い手が、一部のみに限定されない「見守りの輪」を広げたい。                                       | 三糸地区  | ・見守りの担い手を増やす   |
|   |   | 岩園地区  | ・一声かけて垣根を超える。1年以内にマンション管理人など二人の仲間を作る。  |
|   | マンションの方と情報共有や活動の協働が出来るようになりたい。  |   |  |
|   | 身近な場所で気軽に集える場や機会を設け、相互の交流を通じて「顔の見える関係」をつくりたい。                             | 岩園地区  | ・いつでも集える場所を作る・増やす  |
|   |   | 三糸地区  | ・町内でガレッジセールを実施。<br>・多世代交流イベントを開催。<br>・イベント時に福祉講座を組み込み、福祉の意識を根付かせる。                   |
|   | いざ、支援を求めたいと思った時に、相談先がわかるようにしておきたい。  |   |  |
| 地域の行事やイベントに関する情報が地域に行き渡るように効果的に発信したい。               |   |   |  |
| 災害発生時の災害時要援護者の避難や誘導などに対して、日頃の関係づくり等を行うための機会や場を設けたい。 | 山手地区  | ・障がい有することを示すグッズの普及。<br>・障がい者を変えた避難訓練の実施。<br>・福祉課題を抱える方への災害時の対応検討。 |  |
| 精進中学校区  | 民生児童委員、福祉推進委員、自治会、老人会などたくさんの福祉活動の担い手があるが、一緒に取り組むような「しかけ」が出来ない             | 精進地区  | ・3年以内に防災のネットワーク作りを通して各機関の協働体制の構築<br>・行事を通して若い世代の参画                                   |
|   |   | 宮川地区  | ・自主防災組織と連携し、若い世代の参画<br>・2年で各機関との合同行事を増やす   |
|   | 地域で福祉活動（日頃の「さりげない見まもり」や「ちょっとした支えあい」）がなかなか活性化しない。                          | 精進地区  | ・挨拶強化月間運動  |
|   |   | 宮川地区  | ・福祉の視点を持った見守り隊の創設<br>・子供対象イベントを通して、多世代交流<br>・共同行事からの福祉の担い手づくり                        |
|   | 地域の人が集える「居場所」がいろいろあるが、「本当に参加して欲しい人」に参加してもらえていない。                          | 打出浜地区   | ・町内各機関で見守りの検討会の実施<br>・多世代交流イベントの開催<br>・イベントのPRを通して、声掛け運動                             |
|   |   | 宮川地区  | ・町によっては、福祉活動の拠点が無いため、5年の間に空き家を活用し、交流スペースを創設<br>・現行の居場所活動の拡大                          |
|   | 居場所に参加してもらえない人の生活状況がわからない。  | 宮川地区  | ・マンション管理人との相談体制構築  |
| 地域で見まもるべき「ほっとけない人」に対してどのように関わっていいかわからない。            |   |   |  |
| 「ほっとけない人」が、地域にどのような関わりを期待しているのかわからない。               | 精進地区  | ・声掛けと認知症勉強会   |  |
| 瀬見中学校区  | 災害時や日常生活で福祉課題（「生きづらさ」や「暮らしにくさ」）を有する人が、どこに、どの程度いて、どのような生活実態なのか把握できるようにしたい。 | 浜風地区  | ・自治会、管理組合実施のアンケートの活用。  |
|   | 自治会、管理組合の役員が毎年交代するが、福祉活動が継続できるような仕組みを作りたい。                                | 浜風地区  | ・福祉部や自治会の創設。   |
|   | 認知症の高齢者や障がい者等と日常的な見守りや必要な支援が行き届くようにするために関わり方を学びたい。                        | 瀬戸屋地区   | ・認知症がどのようなものか知りたい。<br>・認知症や障がい者等への関わり方について、地域の専門の方に話してもらおう。                          |
|   | 地域では様々な組織・団体が福祉的な活動をしているが、お互いのつながりが薄いため、協働出来る仕組みをつくりたい                    | 瀬戸屋地区   | ・子どもを通して、自治会間の横の連携を図りたい。   |
|   | 福祉活動の担い手やリーダーとなる人を育成したい。  |   |  |
|   | 地域住民同士の繋がりが希薄になってきているので、顔の見える関係を醸成したい。                                    | 瀬戸屋地区   | ・国際色豊かなカレー作りなど、親水中央公園を活用した野外活動の実施。   |
|   | 子育て、介護等で困りごとがある時にどこにどのように相談したらよいかわかるようにしたい。                               | 瀬戸屋地区   | ・「サービスの種類・内容」「認知症について」「相談窓口」など、自治会の定例会に専門機関を呼び、出前講座や出張相談を実施。                         |
|   |   | 浜風地区  | ・防災福祉情報をまとめたものを作成する。<br>・かわら版を作り、掲示板を活用する。<br>・出前講座などを活用する。                          |
|   | 既存の福祉組織、団体が実施している行事の参加者が少なくなっているため、新しい参加者を増やすように取り組みたい。                   | 浜風地区  | ・挨拶、声掛けから親しくなり行事に誘える関係に繋げる。<br>・広報をわかりやすくし、回覧板、掲示板の活用する。<br>・アンケートを実施し、興味のある行事を開催する。 |
| 地域の身近なところに高齢者等（特に男性）が気軽に集える場や機会を設け、閉じこもりがちな人をなくしたい。 | 浜風地区  | ・男性が得意なことを生かした活動。<br>・閉じこもり予防に繋がる講座の開催。                           |  |

※空欄については、協議いたしておりません。

第1回小地域福祉ブロック会議から挙げられた課題

- ・福祉課題を抱える方の把握における、個人情報の共有（山手地区・精進地区・浜風地区）
- ・福祉活動の拠点の創設（宮川地区）
- ・「市民ひろば」と「小地域福祉ブロック会議」との違いや繋がりが（山手地区・宮川地区・瀬戸屋地区）

| 山手中学校区 | 小地域ブロック | 参加者<br>総数<br>(内関係機関) | 回答数 | 回答率   | 回答者内訳 |     |          |           |     | 大変<br>良かった | まあまあ<br>良かった | あまり<br>良く<br>なかった | 良く<br>なかった |
|--------|---------|----------------------|-----|-------|-------|-----|----------|-----------|-----|------------|--------------|-------------------|------------|
|        |         |                      |     |       | 自治会   | 老人会 | こども<br>会 | 福祉<br>委員会 | その他 |            |              |                   |            |
|        | 三条      | 35 (8)               | 22  | 62.9% | 3     | 5   | 0        | 12        | 5   | 12         | 10           | 0                 | 0          |
|        | 山手      | 38 (7)               | 20  | 52.6% | 2     | 2   | 0        | 10        | 6   | 8          | 9            | 0                 | 0          |
|        | 朝日ヶ丘    | 32 (8)               | 29  | 90.6% | 14    | 1   | 0        | 11        | 7   | 22         | 7            | 0                 | 0          |
|        | 岩園      | 36 (11)              | 28  | 77.8% | 3     | 1   | 0        | 19        | 7   | 18         | 9            | 0                 | 0          |
|        | 計       | 141 (76)             | 99  | 70.2% | 22    | 9   | 0        | 53        | 25  | 60         | 35           | 0                 | 0          |

| 設問            | 朝日ヶ丘地区  | 岩園地区   | 三条地区   | 山手地区   |
|---------------|---|--|--|--|
| 小プロで取り上げたいテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座</li> <li>見まもりの対象者をどう発見し、どう情報共有するか。</li> <li>地域のイベントや呼びかけに参加したくない人、参加しない人への関わり方。</li> <li>児童や子育ての問題。</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の内容をより深めたい。</li> <li>地域の集える場所、居場所づくりについて。(行政の力をどう取り入れるか)</li> <li>精神障がい者への対応や認知症家族へのアプローチなど、実際の解決例を知りたい。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>今回のイベント案など、住民が参加できるイベントについて取り上げたい。</li> <li>高齢者のみでなく、子育て支援についても話し合いたい。</li> <li>防災・防犯について取り組むシステムを作りたい。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の具体的なやり方。</li> <li>災害時の具体的な支援方法。多岐にわたるので進めるのは意味がある。</li> <li>災害時の情報。(障がい者の情報など把握できていない)</li> <li>災害時のための地域点検。</li> </ul>              |
| 本日の感想         | <ul style="list-style-type: none"> <li>マンション住人の関心が高まっているのは良い事。</li> <li>実践報告(東山パークマンション)がとても参考になった。</li> <li>次回の企画会議で「認知症の関わり」について前進したい。</li> <li>活発な意見交換ができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>目標が出来たので良かった。良いキャッチフレーズが出来た。</li> <li>話し合う時間が短かった。</li> <li>行動を起こすにはまだ課題が沢山ある。</li> <li>色々な立場の方々と意見を交わすことで次につながれば良い。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題について一つずつ意見を聞く方法が良かった。色々な方の意見が聞けて参考になった。</li> <li>実際に取り組みそうな案が多く出た。</li> <li>顔を思い浮かべて計画すると実現につながると感じた。</li> <li>課題の難しさを再確認した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>当事者の方の話を直接うかがえたのが良かった。</li> <li>具体的な方策の道筋が少し見えた。災害時避難ミニ訓練は実現できると素晴らしい。</li> <li>市民広場と似た内容。横の連携を取ってほしい。</li> <li>グループワークの時間が短い。</li> </ul> |
| 所感            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次回の開催時期やテーマなど、方向性がある程度具体化したことが、回答率の高さ、前向きな感想に現れている。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各町の特徴の差や、住民間の意識差が大きい。小プロを情報共有や意見交換の場として活用された。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃からの付き合い、参集できる機会づくりなど、意見は集約しつつある一方、行き詰まり感もある。視点を変えた展開も必要か。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時要援護者への具体的な支援については、兼ねてより地域の意識も高い。今後の具体策について丁寧に取り組みたい。</li> </ul>   |

平成26年度 第1回小地域福祉ブロック会議 参加者アンケート まとめ 【精道中学校区】

| 精道中学校区 | 小地域ブロック | 参加者<br>総数<br>(内関係機関) | 回答数 | 回答率   | 回答者内訳 |     |          |           |     | 大変<br>良かった | まあまあ<br>良かった | あまり<br>良く<br>なかった | 良く<br>なかった |
|--------|---------|----------------------|-----|-------|-------|-----|----------|-----------|-----|------------|--------------|-------------------|------------|
|        |         |                      |     |       | 自治会   | 老人会 | こども<br>会 | 福祉<br>委員会 | その他 |            |              |                   |            |
|        | 精道      | 45 (6)               | 31  | 68.9% | 7     | 5   | 1        | 21        | 2   | 13         | 18           | 0                 | 0          |
|        | 宮川      | 45 (9)               | 35  | 77.8% | 7     | 4   | 3        | 22        | 4   | 20         | 10           | 2                 | 0          |
|        | 打出浜     | 31 (7)               | 22  | 71.0% | 3     | 3   | 0        | 16        | 2   | 13         | 7            | 0                 | 0          |
|        | 計       | 121 (22)             | 88  | 70.2% | 17    | 12  | 4        | 59        | 8   | 46         | 35           | 2                 | 0          |

| 設問            | 精道地区  | 宮川地区   | 打出浜地区   |
|---------------|---|--|---|
| 小プロで取り上げたいテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人個人のつながり意識を高めるにはどうしたら良いか</li> <li>認知症の人などへの対応の仕方、地域での見まもりをどのようにすれば良いか。</li> <li>防災ネットワークづくり</li> <li>行政や地域との情報共有（個人情報の壁）</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>こども分野に関しても取り上げたい。</li> <li>みんなが集まれる場所づくり。</li> <li>要援護者台帳など個人情報の開示運動。</li> <li>いつも解決しないので、行事などにも参加しない人をどうするのかを再検討したい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>今後の実践の方法について</li> <li>見まもりに対しての共通認識を図る</li> <li>3世代交流のイベント企画</li> <li>自治会等に加入していない人の見まもりについて</li> <li>災害時・後の要援護者の行動のとり方や対応について</li> <li>認知症について</li> </ul> |
| 本日の感想         | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いが深まった。目標が明確になった</li> <li>今回出された意見をこの場だけで終わらせないようにしたい。実践につながる仕組みづくりが必要。</li> <li>こども会として参加する意義があった。今後も若い人の参加は必要だと思う。</li> <li>似たような会が各所で開かれているが、何が実現したのかと思う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各町似た意見が多く、また、以前よりこの会議で言われてきたことのように思った。</li> <li>次世代へ今までの活動をつなげて行く事が大切と感じた。</li> <li>地域とのかかわりが薄い方への見まもりや発見は難しいが、大切だと思う。</li> <li>実現していくためには、公的な支援が必要なのがあるが、どう道筋が見つかるのか疑問。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事例、自治会の方とやりたいことの共通理解が出来た</li> <li>町別のグループで具体的な意見交換が出来て良かった。自治会・老人会・こども会・福祉委員会で、自分の町に必要なことが確認できた。</li> <li>次につなげるものであってほしい。</li> </ul>                  |
| 所感            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●町数が多く、地域差も大きいため、小地域福祉ブロックの単位でも広すぎる印象がある。まずは各町での取り組みを実施し、小地域福祉ブロック会議で共有したい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●居場所づくりや各町の催しなど、町ぐるみでの活動が比較的活発な地域である。各町の活動共有など、今行われていることをどう拡げていくかが課題。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●町での話し合いの場として、活発な意見交換が出来た。各町が立てた目標についての実践について、次回の会へ持ち帰っていただければ、後追いや働きかけが必要。</li> </ul>   |

平成26年度 第1回小地域福祉ブロック会議 参加者アンケート まとめ 【潮見中学校区】

| 潮見中学校区 | 小地域<br>ブロック | 参加者<br>総数<br>(内関係機関) | 回答数 | 回答率   | 回答者内訳 |     |          |           |     | 大変<br>良かった | まあまあ<br>良かった | あまり<br>良く<br>なかった | 良く<br>なかった |
|--------|-------------|----------------------|-----|-------|-------|-----|----------|-----------|-----|------------|--------------|-------------------|------------|
|        |             |                      |     |       | 自治会   | 老人会 | こども<br>会 | 福祉<br>委員会 | その他 |            |              |                   |            |
|        | 潮見          | 23 (7)               | 8   | 34.8% | 3     | 1   | 0        | 4         | 0   | 1          | 4            | 1                 | 0          |
|        | 潮芦屋         | 24 (6)               | 14  | 58.3% | 6     | 1   | 0        | 4         | 4   | 3          | 11           | 0                 | 0          |
|        | 浜風          | 32 (7)               | 24  | 75.0% | 4     | 0   | 0        | 13        | 7   | 8          | 15           | 0                 | 0          |
|        | 計           | 79 (20)              | 46  | 58.2% | 13    | 2   | 0        | 21        | 11  | 12         | 30           | 1                 | 0          |

| 設問            | 潮見地区  | 浜風地区   | 潮芦屋地区   |
|---------------|---|--|---|
| 小プロで取り上げたいテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方とのかかわり方。</li> <li>・いろんな団体（理事会・自治会・福祉関係者）の連携をどうしたらよいか。</li> <li>・ニーズの把握</li> <li>・テーマより、各地域の組織づくりを、成り立ちから考えたい。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の取り組みの実施報告。</li> <li>・新しい参加者を増やすための取り組み。</li> <li>・地域の各グループの連携方法</li> <li>・要援護者への防災について</li> <li>・子育て支援など、こども分野への取り組み</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック共通のテーマで話し合いたい</li> <li>・高齢者、障がい者の方との接し方。</li> <li>・地区の中での“気になる方”への見まもり支援について</li> <li>・災害時の対応や防災について</li> </ul>   |
| 本日の感想         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまではテーマばかり追いかけていたが、今回は色々と深く話げできた。</li> <li>・これまでの振り返り説明を省略することに賛成。</li> <li>・多くの意見が出て良かった。</li> <li>・いままで知らなかった方の話を聞く事が出来て良かったが、時間通りに終わって貰わないと困る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを1つか2つに掘り下げて解決策を考えるやり方が良かった。</li> <li>・この会を継続してほしい。</li> <li>・男性の参加が多く良かった。</li> <li>・高齢者対策は市で一本化してほしい</li> <li>・個人情報の問題でなかなか必要な方が把握できない。何かする時に資金がない事も活動の妨げになっている。</li> <li>・小地域できめ細かく検討出来た。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の会議よりは具体的な取り組みを話し合えた。</li> <li>・認知症や高齢者だけでなく、こども分野の課題もでてきてほっとした。</li> <li>・話し合いのイメージが持ちやすかった。</li> <li>・他の自治会の方々ともコミュニケーションを図れたら良いと思った。</li> <li>・現在ある取り組みを広げていく方法でも良いと思う。</li> </ul> |
| 所感            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●以前より会議に関わってこられた方が多く、小地域福祉ブロック会議をどのように活用していくかについて熱意のある意見が出された。土台として大事なことなので丁寧に進めたい。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●活発な意見交換が出来た。各町が立てた目標の実践について、次回の会へ持ち帰っていただけるよう、後追いや働きかけが必要。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●町によって特性差が大きく、今後どのように、今回出された企画を、小地域福祉ブロック会議として、進めていくかが課題。</li> </ul>   |

| 小地域<br>ブロック | 参加者<br>総数<br>(内関係機関) | 回答数 | 回答率   | 回答者内訳 |     |          |           |     | 大変<br>良かった | まあまあ<br>良かった | あまり<br>良く<br>なかった | 良く<br>なかった |
|-------------|----------------------|-----|-------|-------|-----|----------|-----------|-----|------------|--------------|-------------------|------------|
|             |                      |     |       | 自治会   | 老人会 | こども<br>会 | 福祉<br>委員会 | その他 |            |              |                   |            |
| 朝日ヶ丘        | 27 (10)              | 18  | 66.7% | 3     | 1   | 0        | 10        | 4   | 15         | 3            | 0                 | 0          |
| 潮芦屋         | 22 (11)              | 13  | 59.1% | 4     | 0   | 0        | 4         | 5   | 3          | 7            | 0                 | 0          |
| 計           | 49 (21)              | 31  | 63.3% | 7     | 1   | 0        | 14        | 9   | 18         | 10           | 0                 | 0          |

| 設問            | 朝日ヶ丘地区  | 潮芦屋地区  |
|---------------|---|--|
| 小プロで取り上げたいテーマ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災、減災</li> <li>・一人暮らしのお年寄りの見守り方</li> <li>・老後の暮らしやすい生活</li> <li>・認知症を防止する施策を考える</li> <li>・若者プアーについて、精神障がい者への接し方、男性を地域活動に協力してもらうためにはどうすれば良いか</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでにしている課題に一つ一つ取り組めばよいと思う</li> <li>・この会議の位置づけとして勉強会なのか、情報交換の場なのか、出席者で何かをする場なのか、あるいはその全てなのか？それによって取り上げる内容が変わってくる。この会議で何かアクションしろと言われるのであれば無理だと思う</li> <li>・「地域内の人とのつながり」は取り上げるテーマとしては最重要なものであり良かった。</li> <li>・今回のことを掘り下げた方が良い。</li> </ul> |
| 本日の感想         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題になっている「認知症」について、具体的に行動を起こしてみようという取組が良いと感じた。</li> <li>・実際の活動に繋がるよう具体的に計画を立て、今後の予定まで決めることが出来、地区の住民の方々のパワーを感じた。</li> <li>・前向きに取り組めてよかったと思うが、少し心配</li> <li>・具体的に企画をし、一度実行していくことが大事</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の会議の内容が具体的に進んで行っている気がした</li> <li>・個人的には協力できるが、自治会単位で協力するというのは難しいかと思う</li> <li>・二つのテーマに分かれて話したことはそれなりに意味があったと思うが、企画書と言うような形が先行すると参加者の気持ちがついていけない面もあると感じた。</li> <li>・この会議が何を指して行くのかを話し合っても良いのでは</li> </ul>                               |
| 所感            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●各団体で決定権がある方が参加され、積極的に意見を出し合うため、具体的な開催計画が出来上がる。参加者の意見が具体化されていくため、参加者全体でのモチベーションも高まっていると思う</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループワークの結果として、かなり具体的な開催計画は出来上がったものの、まとめの段階で、「誰が」実施するのかについて紛糾した。活動体としての小地域福祉ブロック会議を目指すには、まだ時間がかかる。</li> </ul>   |



住み慣れたまちで安心して暮らしていくために  
～朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議の取組～

芦屋市社会福祉協議会  
芦屋市福祉部

芦屋市の概況①



平成26年4月1日現在

- ・ 人口 96,499 人(男性：43,924人 女性：52,575人)
- ・ 世帯数 43,851世帯
- ・ 高齢者数 25,011人(高齢化率 25.92%)

平成26年3月末日現在

- ・ 要介護認定者数 4,691人 (要介護認定率18.8%)
- ・ 認知症高齢者の割合 認定者の約半数

※ 参考

平成22年 国勢調査

65歳以上 単身者世帯 4,680世帯 (12.0%)

65歳以上のみの世帯 8,928世帯 (10.0%)

- ・ 面積 18.57km<sup>2</sup> ・ 60町区



## 芦屋市の概況②



平成26年4月1日現在

### ・身体障害者手帳交付状況

18歳以上: 3,176人

18歳未満: 46人

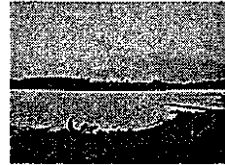
### ・療育手帳交付状況

18歳以上: 301人

18歳未満: 163人

### ・精神障害者保健福祉手帳交付状況

375人



3

## 朝日ヶ丘地区の状況

|               |                              |
|---------------|------------------------------|
| ・町数           | 2町(朝日ヶ丘町・東山町)                |
| ・人口           | 9,568人                       |
| ・高齢者人口        | 2,427人                       |
| ・高齢化率         | 25.4%(朝日ヶ丘町24.56%・東山町27.62%) |
| ・ひとり暮らし高齢者数   | 457人(H22年国勢調査)               |
| ・救急医療情報キット配布数 | 2,076個                       |
| ・民生委員数        | 7人                           |
| ・福祉推進委員数      | 14人                          |



4

## 朝日ヶ丘地区小地域ブロック連絡会で検討したテーマ

平成22年度 第1回

・「あなたのまわりでの地域の問題、気がかりなこと、気になること」について

平成22年度 第2回

・「地域での見守り」について

平成23年度 第1回

・「地域の中で見守りの輪を広げる」について

平成23年度 第2回

・「認知症の方に対して町内で協力し合えること」について

平成24年度

・「各組織の役割と活動紹介、単独では解決できない困りごと」について

平成25年度

・「レックスマンションの取組紹介」「困った時の相談先一覧の作成」について



5

## 朝日ヶ丘地区で出された共通の(解決したい)課題

- ◎さまざまな組織が日頃の見まもり活動を実施しているため、相互に連携して、情報共有をしたい。
- ◎マンションの管理人が居住者の困りごとに気づいたり、相談されたりした場合、どこに相談すれば良いかわかるようにしたい。
- ◎マンションと接点が少なく、一人暮らし高齢者等の情報が出来づらいので、マンションの方(管理人・管理組合)と情報共有や活動の協働が出来るようになりたい。
- ◎認知症によって福祉課題を有する人にどのように関わってよいか知る機会を設けたい。
- ◎地域で孤立している人の困りごとが大きくなってから発見されないようにしたい。

6

## 課題解決に向けた取組①

### ～朝日ヶ丘レックスマンションの取組の経過～

#### 取組の経過

・1995年1月17日 阪神淡路大震災

4月 桜祭り開催(マンション内駐車場にて) 270名参加

~~~~~ 震災復興まで2年の歳月がかかり~~~~~

#### その間の取組

- ・あいさつから始める⇒コミュニケーションが取れる。
- ・居住者4/5の承認により、マンションの補修が実現
- ・1階の店舗の買取り、集いの場の確保
- ・男性理事長から女性理事長へ
- ・コミュニケーションサークル活動の始まり



7

## 課題解決に向けた取組①

### ～朝日ヶ丘レックスマンションの取組の経過～

#### ・年代ごとの取組

子ども会・・・クリスマス会・ボーリング大会等々の実施

壮年の会・・・ビアパーティー、ボジョレーヌーヴォを楽しむ会等々の実施

老年の会・・・毎月の昼食会、七夕祭り等々の実施

#### ・マンション居住者への支援

単身世帯 47世帯/138世帯 最高齢者 101歳

子ども 9人 中学生 14人

防災用の入居届 全戸届出 介助者の名簿作成(各階に防災委員)

鍵預かり 87世帯/138世帯

高齢者のサポーター 5人 防火管理者 5～6人

8

## 活動の中から見えてきたもの

震災をきっかけに復興までの道のりを住民で乗り切った！

強い絆が生まれた



- ・ 人と人とのつながり ・ よきリーダーが牽引(長年の居住者が牽引)
- ・ コミュニケーションを図ってきたから、防災委員を気軽に引き受けてくれる。

1か所のマンションの取組から複数のマンションの取組へ

点と点の取組から面の取組へ

9

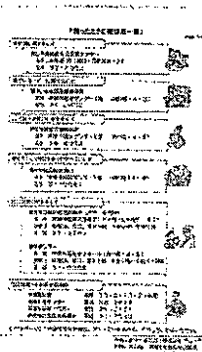
## 課題解決に向けた取組②

～「困った時の相談先一覧」の作成～

・マンションの管理人が居住者の困りごとに気づいたり、相談されたりした場合、連絡先が分からない。

・小プロにて案を練り、地区福祉委員会で作成

・地区福祉委員会にて、マンション用の「相談先一覧」をレックスの取り組み紹介、小プロ報告書と一緒に各マンションに配布し、地区便利にも「相談先一覧」を掲載し、地区全戸配布する。



10

## 課題解決に向けた取組② ～配布してのマンションの反応～

\* こんなのが欲しかったんです。

\* 掲示板に貼っておきます。

\* A3に拡大カラーコピーをし、各階に掲示しています。

\* 次回のマンション機関誌に掲載しようと思っています。



11

| 朝日六反地区小地域福祉ブロック会議 活動計画(案)                                                |                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (今までに午がった)課題                                                             | 目標(キヤッチコピー・誰が・何を・どのように・いつまでに・数値)<br>例)3年以内にマンションのホプロ参加を20カ所に増やす                                             |
| さまざまな組織が日頃の見まもり活動を実施しているため、相互に連携して、情報共有をしたい。                             | ・東山町において、自治会・老人会・民生委員・福祉推進委員で協働して、見守り活動を実施中                                                                 |
| マンションの管理人が居住者の困りごとに気づいたり、相談されたりした場合、どこに相談すれば良いかわかるようにしたい。                | ・マンション居住者によるイベントの実施や相互支援のしくみづくりの共有(朝日ヶ丘レックスマンション1号棟の活動報告)<br>・また、住民向けに地区福祉便り「相談先一覧」を掲載し、全戸配布する。             |
| マンションと接点が少ない、一人暮らし高齢者等の情報が出来づらいため、マンションの方(管理人・管理組合)と情報共有や活動の協働が出来るとなりたい。 | ・H24年度に地区内マンション管理組合宛てに会議の案内と参加意向のアンケートを実施<br>・H25年度にマンション内での実態・取組を知るため、レックスマンション1号棟でのサロン活動・相互支援の実践報告をしていただく |
| 認知症によって福祉課題を有する人にどのように関わってよいか知る機会を設けたい。                                  |                                                                                                             |
| 地域で孤立している人の困りごと大きくなってから発見しないようにしたい。                                      |                                                                                                             |

12



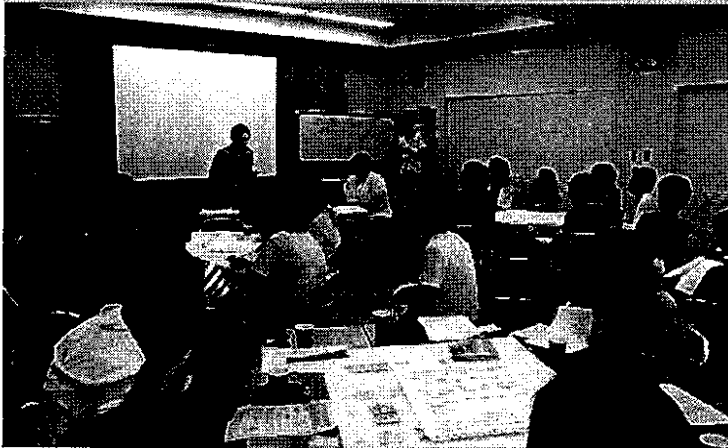
本日の会議の目標

『 これまでの課題を解決する  
ための計画を作る！！ 』

第1号(平成26年10月吉日)発行:朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議(事務局:芦屋市社会福祉協議会)

# 朝日ヶ丘地区 小フロニュース

## 平成26年度第1回朝日ヶ丘地区小フロ開催



### 小フロとは??

正式名称は、小地域福祉ブロック会議であり、概ね小学校地区の住民主体の会議です。地区内の自治会、管理組合、福祉委員会(民生委員・福祉推進委員)をはじめ地域で活動している方々が集まり、地域の各組織単独ではなかなか解決できない地域の福祉課題について考え、解決に向けて具体的に取り組んでいくことを目的としております。

9月11日に朝日ヶ丘集会所にて、平成26年度第1回朝日ヶ丘地区小地域福祉ブロック会議を開催し、32人が参加いたしました。

### パークマンションの取り組み

朝日ヶ丘地区(朝日ヶ丘小学校区)では、マンションなど集合住宅が多いのが特徴であります。そこではじめに、地区内のマンションにおける福祉的な取り組みとして、東山町にある芦屋パークマンションの管理組合の方より実践報告をいただきました。

芦屋パークマンションでは、管理組合の代表は概ね毎年交代しますが、管理組合の中の

環境委員会が環境対策だけでなく、勉強会等を企画し、活動と継続性の担保がされています。

また、マンションが設立し約40年が経過し、入居者の高齢化が課題で



あり、8月より月1回2時間を目標に、共有スペースにてモーニングカフェを開催し、住民同士の繋がり場の場づくりに取り組まれているとのことでした。

### 認知症サポーターを増やす

後半は4つのグループに分かれ、今まで拳



がっている課題を踏まえ、朝日ヶ丘地区小地域福祉ブ

ロック会議での活動計画を作りました。

どのグループにおいても「認知症の方への関わり」について取り上げられ、認知症を勉強した認知症サポーターを増やすことを活動計画として決まりました。

次回は、その為に具体的にどのように進めていくかを考えていきます。

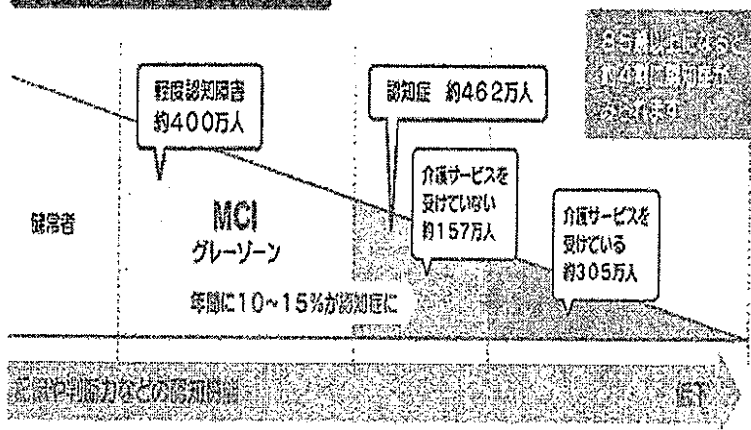
次回の開催日:11月20日 場所:朝日ヶ丘集会所 テーマ:認知症サポーターを増やす具体的な計画づくり

# 認知症サポーター養成講座とは？



## 65歳以上の方の4人に1人は、認知症か予備軍

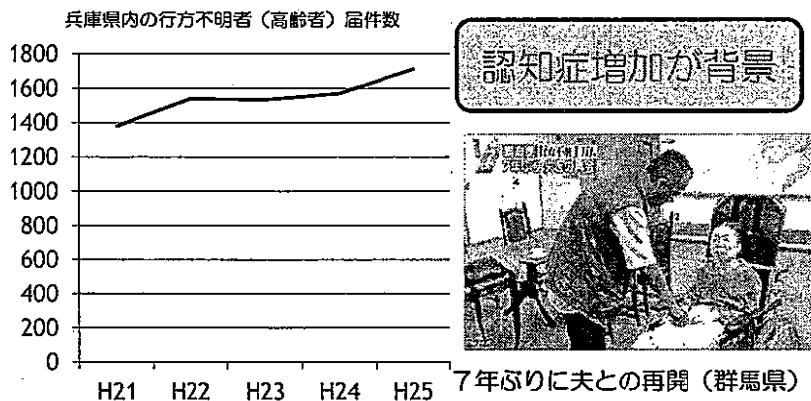
65歳以上の高齢者 約3079万人 (2012年)



第一薬品工業HPより



## 行方不明となる認知症の人は年間約1万人



- ◎ 兵庫県内でも認知症の男性が、2年間身元不明のまま大阪市内の介護施設で暮らしていたことが判明

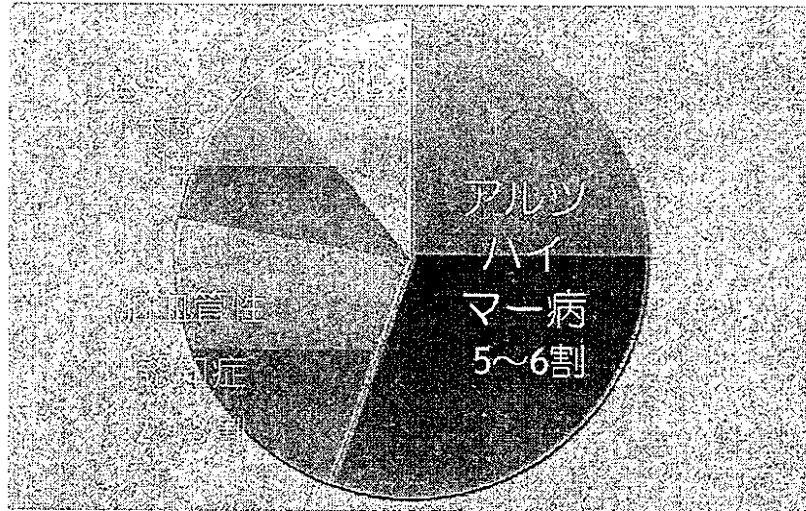
## 「認知症とは」

☆ 認知症は病気である  
 誰もがなりたくないと思っはいても、認知症はすべての人に起こりうる。  
 決して人ごとではない。  
 職業も社会的地位も経済力もIQも関係なく・・・

⇒ 米国のレーガン大統領  
 英国のサッチャー首相  
 その他日本の芸能人など



## 認知症の原因疾患



## 認知症と加齢に伴う認知機能低下 (もの忘れ)との違い

### 老化によるもの忘れ

- 体験の一部を忘れる
- ヒントを与えられると思い出せる
- 時間や場所など見当がつく
- 日常生活に支障はない
- もの忘れに対して自覚がある



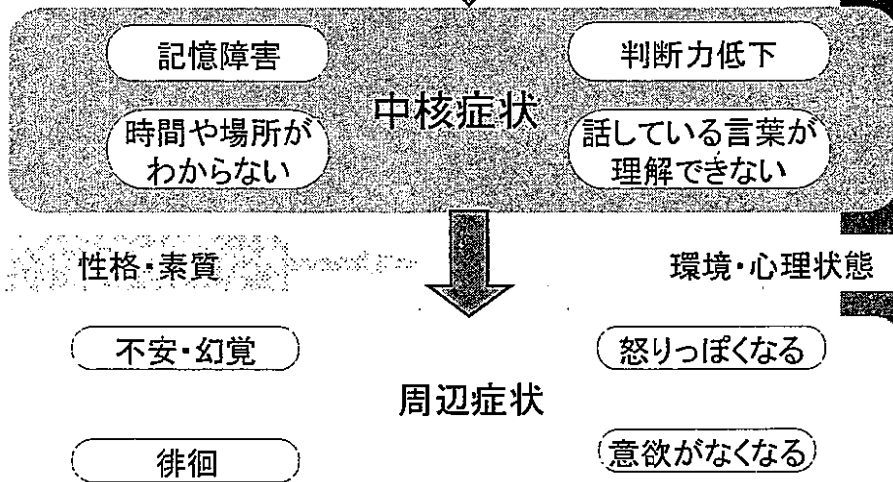
### 認知症のもの忘れ

- 体験全体を忘れる
- 新しい出来事を記憶できない
- ヒントを与られても思い出せない
- 時間や場所などの見当がつかない
- 日常生活に支障がある
- もの忘れに対して自覚がない



## 認知症の症状

脳の細胞が死ぬ



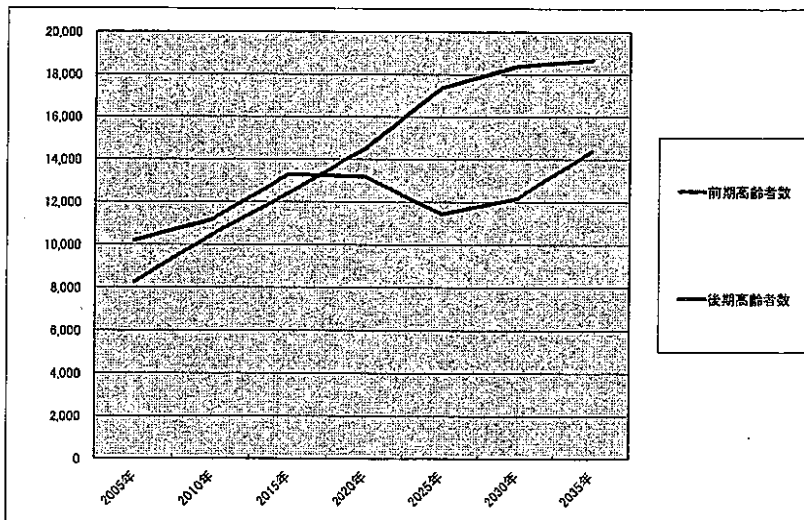
## 認知症の診断と予防

- ◎ 早期発見・早期治療が大切
  - 治る病気や一時的な症状の場合がある
  - アルツハイマーの場合、薬で進行を遅らすことが出来る
  - 相談先を知ってもらう
    - 高齢者生活支援センター
    - 専門の医療機関
    - 認知症家族の会
- ◎ 認知症を予防する
  - 生活習慣病対策が発症を減らす
  - 脳の活性化を図る

## 認知症の方への対応

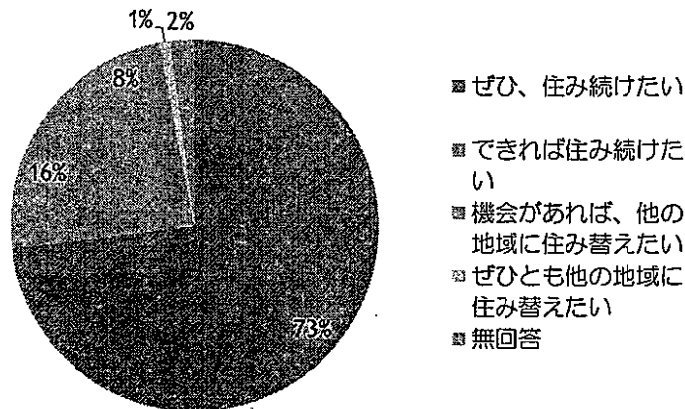
|                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| 対応の心得<br>3つの「ない」        | 1. 驚かせない             |
|                         | 2. 急がせない             |
|                         | 3. 自尊心を傷つけない         |
| 具体的な対応<br>7つの<br>「ポイント」 | 1. まずは見守る            |
|                         | 2. 余裕をもって対応する        |
|                         | 3. 声を掛ける時は1人で        |
|                         | 4. 後ろから声を掛けない        |
|                         | 5. 相手に目線を合わせて優しい口調で  |
|                         | 6. おたやかに、はっきりした滑舌で   |
|                         | 7. 相手の言葉に耳を傾けゆっくりと対応 |

## 今後予想される芦屋市の高齢者人口



## あなたは今後どこに住みたいですか？

今の地域に住み続けたいか？



東京都在宅高齢者実態調査（平成20年）より

## 認知症になっても安心して生活できるように

- ◎ 地域住民の力とつながり（介護・医療・行政・地域住民・家族会・NPOなど）



- 認知症の人が安心して住み慣れた地域で住み続けるためには、まずは地域の人々が認知症に対する誤解や偏見をなくし、人として同じ価値のある存在であることを認めることが大切。
- そして、早期発見・早期相談・早期治療のためにも相談先の周知が大切。

## 認知症サポーター100万人キャラバン

- ◎ 認知症の人と家族への応援者である

「認知症サポーター」



を全国で100万人養成し、認知症になっても安心して暮らせる街を目指すキャンペーン

- ◎ 平成26年9月30日現在、540万人達成
- ◎ 現在、600万人達成を目指しています！

## 認知症サポーターの役割

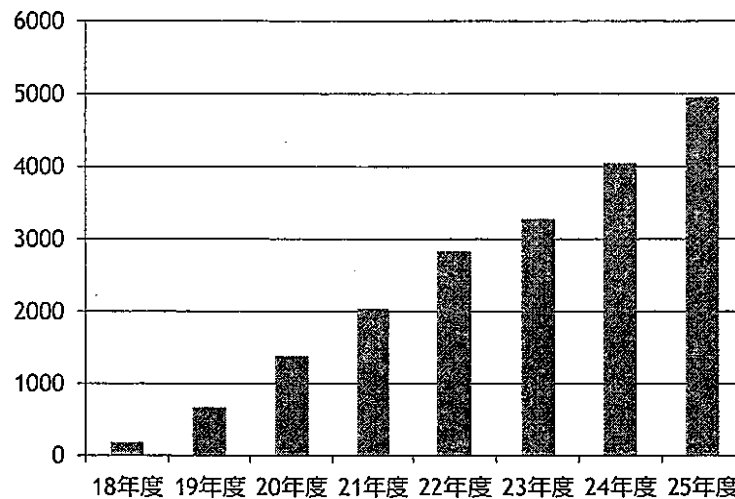
- ◎ 認知症サポーターは「なにか」特別なことをやる人ではありません



- ◎ 認知症について正しく理解する
- ◎ 偏見を持たない
- ◎ 認知症の人や家族に対して温かい目で見守る  
「応援者」

それが「認知症サポーター」

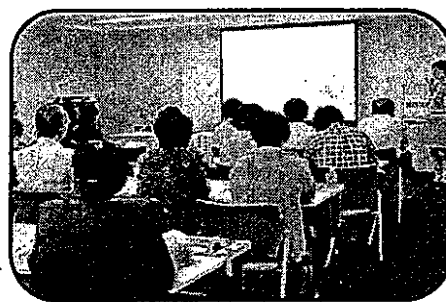
## 芦屋市のサポーター（延）数の推移



**H25年度は、22回 計 906人向けに実施**

## 認知症サポーター講座の内容

- ◎ 市民向け
- ◎ 自治会
- ◎ 警察学校
- ◎ 小学校・中学校
- ◎ スーパーや銀行
- ◎ 市役所職員 など



- 講師が出向き、認知症の勉強会を **無料** で実施します。
- 開催の会場は、開催主催側でご用意いただきます。
- 時間は、アンケート・ビデオ上映も交えながら、90分です。  
受講者の年代や役割に合わせた内容を考え、講座を組み立てます。

## 朝日ヶ丘小学校での講座 (H26.10)



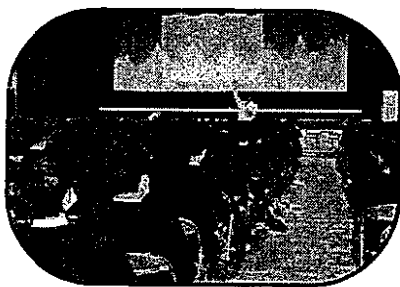
高齢者模擬体験



寸劇

事前にアイマスクや重りなどを装着し、高齢者模擬体験を行い、その上で認知症講座を実施。講座では、講義だけでなく小学生向けのDVDや寸劇なども。

## 山手中学校での講座



クイズ



伝言ゲーム

講義形式だけでなく、生徒が参加出来る形ですること  
とで、楽しみながら聞いてもらうことが出来る。



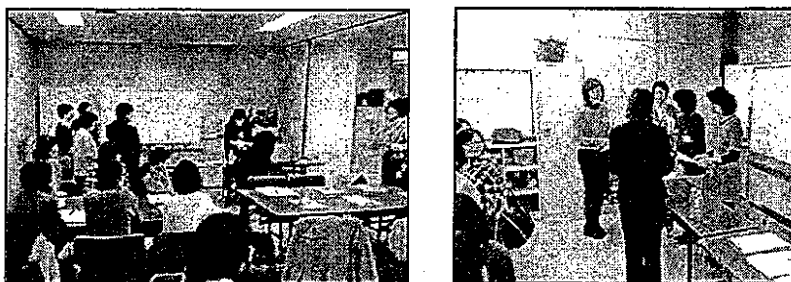
## 警察学校での講座（年4回）



### ロールプレイ

認知症役のスタッフ相手に声掛けの仕方や対応の仕方を体験してもらう。

## スーパーや銀行での認知症講座



### ロールプレイ

- \*レジやATMで戸惑っておられる認知症の方への対応
- \*行方不明で戸惑う家族への対応